

V シ ー ト 防 水 工 事

施 工 要 領 書

K S - A R 工 法

(店 舗 改 装 ・ 新 装 工 法)

ケ イ エ ス 防 水 工 業 株 式 会 社

KS-AR工法（室内水廻り防水工法）

○適用条件

本施工は、厨房・浴室・トイレ等の改修・新装の防水工事に適用する工法です。

1. 下地条件

KS-AR工法の施工に際しては次の点にご注意下さい。

- ①床面にPタイルや塩ビシート、ゴムシート等が貼ってある場合は全て撤去して下さい。
- ②床面が塗り床の場合は全て撤去して下さい。
- ③防水範囲の壁面に石膏ボード等が貼ってある場合は撤去して躯体を表に出す様にして下さい。
(石膏ボード等にはVシートは施工できません)
- ④防水範囲中の既存配管の内、不要な物は全て下地と面一で切断しておいて下さい。
- ⑤コンクリートやブロックで間仕切りをする場合、ブロックの表面はモルタルで均すと共に、
目地や切りつけ部は隙間の無い様に埋め、表面は平滑に仕上げして下さい。
また、シートをブロックの天端に巻き上げる場合は、天端の穴もモルタルで埋め、
天端表面も同様にモルタルで平滑に仕上げして下さい。

2. 下地点検、清掃及び調整

防水工事の施工に入る前に、前記作業が適切に行われているかを確認・点検する。

その際、防水工事に支障となるレイトンスがあれば取り除く。

また、ドレーンやパイプ、グリストラップ等に付着したモルタルや汚れを取り除いて清掃する。

3. 施工

(1) 下地処理

①Vコート(ポリマーセメント系塗膜防水材)による役物処理及び下地処理

出入隅々部、パイプの根元、ドレーンの下皿、グリストラップのフランジ、打継部等にVコートを補強塗りする。(グリストラップのフランジはサンドペーパー等で目荒らしを行ってから塗布する。)

パイプ周りはパイプ、下地双方に巾50mm以上塗りかける。

打継部は継目を中心にして巾100mm以上塗布する。

また、鉄製下地等が混在する場合はカチオン系の樹脂ノロ塗布、もしくはVコートで下地処理を行う。

既存内装材撤去後の下地において接着剤等の残滓がある場合には、ケレンなどで出来る限り除去、平滑にした後、全面にカチオン系の樹脂ノロを塗布する。

②プライマー塗布

Vコートで処理する必要のない下地(新規に打設したコンクリート、モルタル、既存下地で接着剤の残滓等の付着が無い部分)の表面にプライマー塗布をする。

Vコートで処理した下地にはプライマーの塗布は不要。

通常の下地に於いては以下の通り使用する。

・立上り

Vシートプライマー原液1:水2にて希釈し、1回塗りとする。

下地の吸水が激しい場合は、乾燥後塗り重ねる。

コンクリートブロックの場合は2回塗りとする。

・床面

Vシートプライマー原液1:水3にて希釈し、2回塗りとする。

下地の吸水が激しい場合は、乾燥後塗り重ねる。

(2)シート施工

①Vシートポリマーセメントペースト(以下VPセメントペースト)の調合

・配合 ポルトランドセメント1袋(25kg):水9~12%:Vシートプライマー原液の0.7kg

・調合手順

調合容器にセメント1袋当たり8~9%の水を入れ、Vシートプライマー原液0.7kgを加える。

ハンドミキサー等で攪拌しながらセメントを投入し、ダマが無くなるまで十分に攪拌する。

その後3~4分放置する。(絞まって硬くなる)

再度適量の水を加えて攪拌し、適度な硬さに調整し使用材とする。

※ 冬季において気温が5℃以下になると予想される場合は防凍剤を使用する。

②Vシート施工

・立上り

VPセメントペーストを施工面に金ゴテで厚み3mm程度に塗り付ける。

Vシートを張り付け、エア抜きブラシ又は手でVシートとVPセメントペースト間のエアを抜く。

その際にエアと一緒にVPセメントペーストが適量のみ出るようにしながら抜いていき、

はみ出たVPセメントペーストはコテで均しておく。

Vシート同士のジョイントは、幅100mm以上でオーバーラップさせ、VPセメントペーストで張り合わせる。

立上りのシート張りの作業中、役物・出隅隅角部等の必要箇所には補助・補助張りを行う。

・床面

施工面にVPセメントペーストを金ゴテで厚み3mm程度に均す。

予め逆巻きしておいたVシートのロールを転がして、VPセメントペーストを押しつける様にながら張り付ける。

VPセメントペーストを均していない所まで転がしたら、再びVPセメントペーストをコテで均し、

以下同様に繰り返しながら張っていく。

1スパン張り終えたら、エア抜きブラシを用いてエアを抜いていく。

この際も適量のVPセメントペーストがエアと一緒にのみ出す様にながら抜いていく。

Vシート同士のジョイントは立上りと同様とする。

4. 施工後の注意事項

- ・Vシートの施工後は、12時間以上(冬季防凍剤使用)の硬化養生期間を置いて下さい。
- ・その間は立入禁止とし、絶対にシートの上を歩いたり物を乗せたりしないで下さい。
- ・養生期間経過後も、保護層の施工が完了するまでは立入禁止とし、重量物や鋭利な物、資機材等を置かないで下さい。
- ・モルタル、コンクリート打設時にスコップ等でVシート表面をこすったり、つついたりしないで下さい。
- ・これらの他にも、Vシートを傷つける様な行為は厳禁です。

★Vシートを傷付けると漏水事故につながる可能性がありますから十分な注意が必要です。

※止むを得ずダメ残しとなる場合は、次回施工時にシートをオーバーラップさせる分(巾300mm程度)には保護層を施工しないで下さい。また、汚れたり傷が付いたりしない様、十分に養生して下さい。

資料のページ

1. 下地条件

①ドレーン

・ドレーンは必ずシート防水用を使用し、下地レベルと面一での同時打ち込みが理想的です。

(モルタル防水用ドレーンは絶対に不可。施工できません。)

止むを得ず後付けする場合は堅固に固定し、周囲に隙間が出来ない様モルタルを詰め、配水管を接続して固定しておいて下さい。

②配管

・防水層を貫通する様な配管は避けるのが理想ですが、止むを得ず行う場合は堅固に取り付けて下さい。

コンクリートブロックによる間仕切りに配管を貫通させる場合には、出来るだけ高い位置とし、

必ずサヤ管を使用して堅固に固定して下さい。

・塩ビ管、鉛管、銅管、システム配管、コルゲート管等、動きが大きく変形しやすい配管類を貫通させる場合は

必ずツバ付サヤ管を使用し、堅固に固定して下さい。

また、鉛管、鉄管等で、配管後にロウ付け等加熱を伴う作業を行う場合は熱がサヤ管に

伝わらない様にして下さい。

・サヤ管は、いずれの場合も防水面から50mm以上突き出る様に設置して下さい。

③その他

・セメント以外の材質の下地(鉄板等)が混在する場合は、変形しない様、十分な厚みのある材料を使用して堅固に取り付けて下さい。

※上記の条件は、いずれも漏水事故を未然に防ぐ為に必要な事項です。

合致しない場合はお手数でも施工までに改善措置を取って下さい。

2. 施工厚み

・Vシート防水の施工厚みはジョイント部分の最大厚で15mm程度となります。

また、補助張りが必要となる部分(役物周りや出隅の隅角部分等)では25mm程度となります。

タイル下地や巾木に仕上げる場合等にはご注意下さい。

3. 材料について

①使用材料一覧

品名	商品名	規格・内容量	メーカー
普通ポルトランドセメント ※1		25kg 袋	市販品
プライマー	Vシートプライマー	18kg 缶	弘進ゴム(株)
ポリマーセメント系塗膜防水材	Vコート	18kg 缶・14kg 箱	ケイエス防水工業(株)
防水シート	VシートS	t0.8mm×1m×30m巻	ケイエス防水工業(株)

※1 セメントについては建設会社様からの支給をお願いしております。(その方が単価が安い為)

セメント1袋(25kg)当たりの施工量は、通常約11.5㎡程度となります。

施工総面積100㎡の場合の必要量は $100 \div 11.5 \approx 9$ で9袋となります。(状況により増減あり)

※ 標準仕様ではVシートの厚みは0.8mmです。

②配合と使用量

・プライマー

Vシートプライマー原液1kg:水2~3kg 塗布量0.2kg/㎡

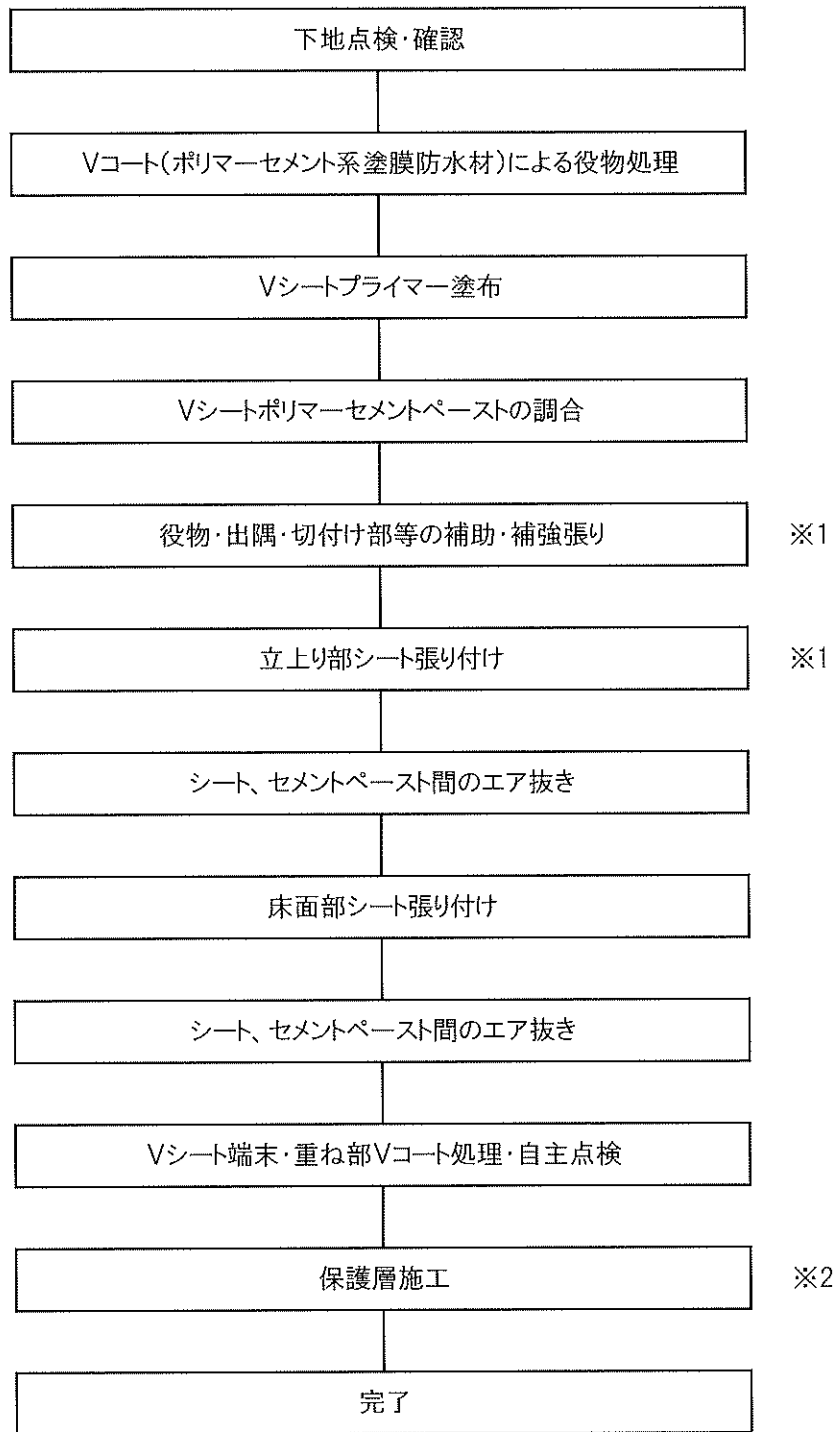
・Vコート(ポリマーセメント系塗膜防水材)

VコートA(樹脂)9kg:VコートB(パウダー)7kg:水0~2kg 塗布量0.4kg/㎡

・Vシートポリマーセメントペースト

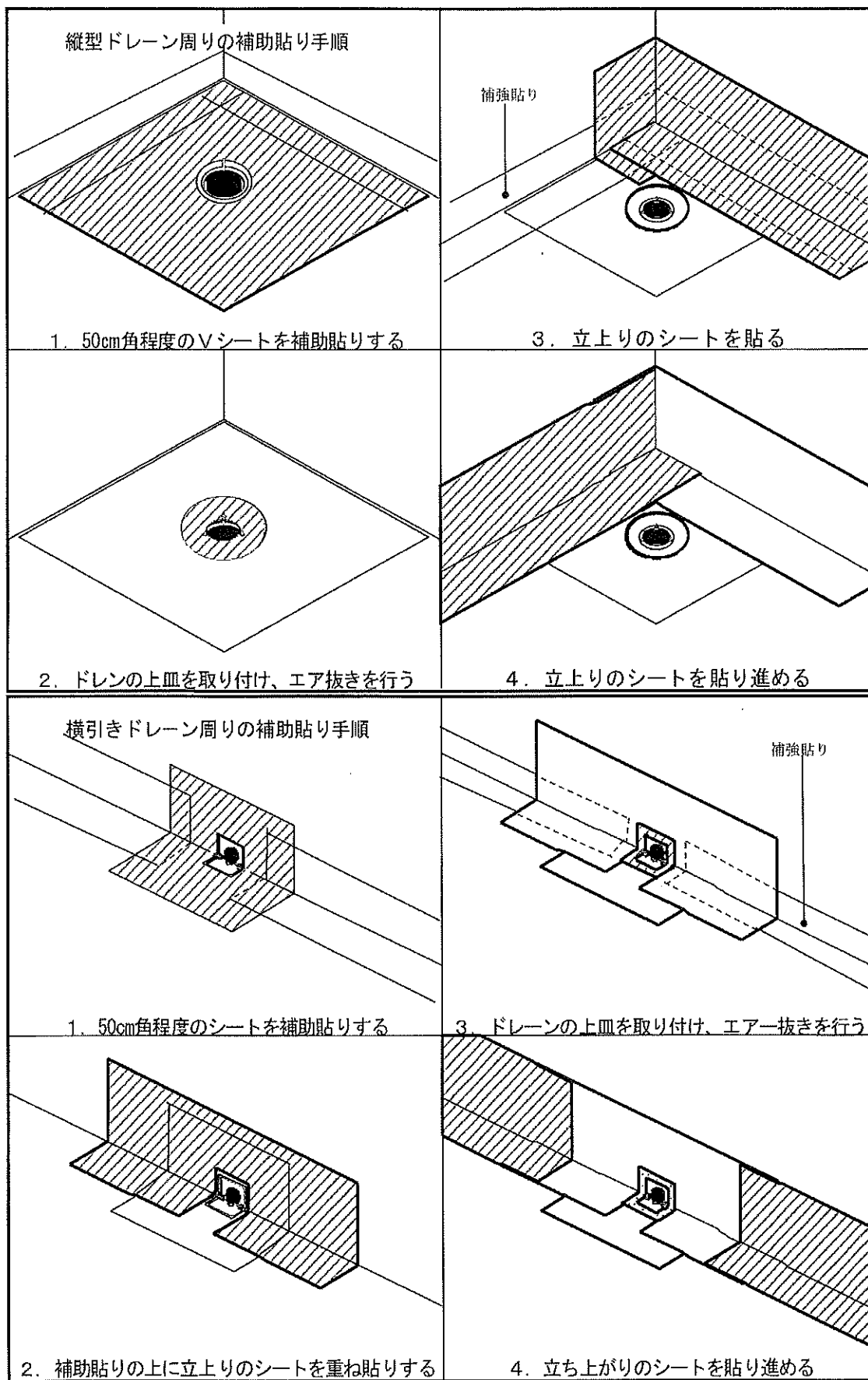
セメント25kg:水9~12ℓ:Vシートプライマー原液0.7kg 塗布量3.0kg/㎡

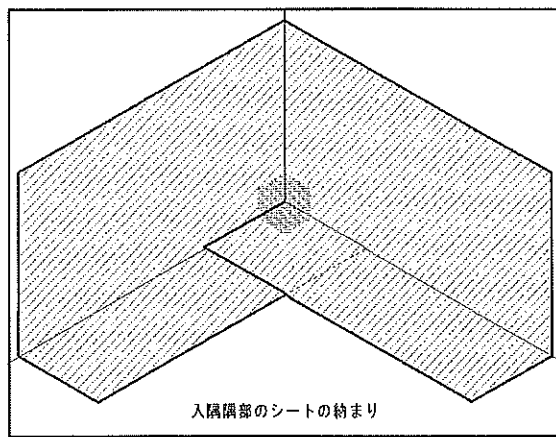
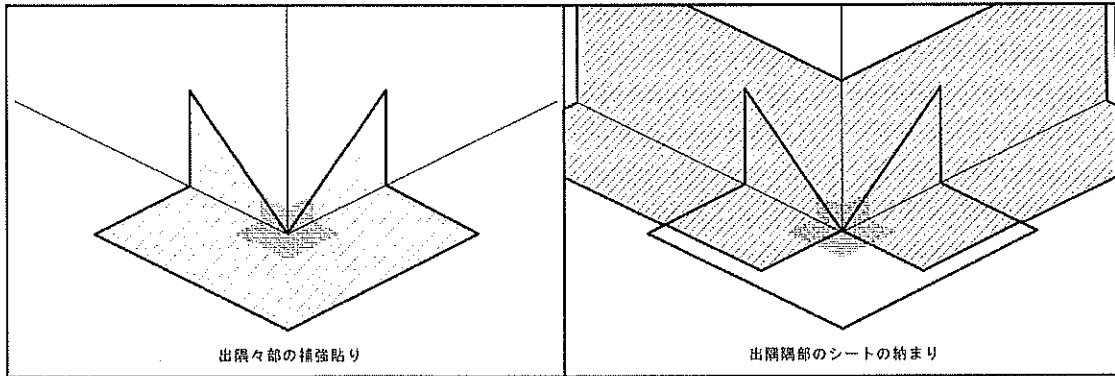
○ Vシート湿式防水 KS-AR工法 施工フローチャート



※1 補強貼りと立上り部のシート貼りは作業の流れにより順序が前後する場合があります。

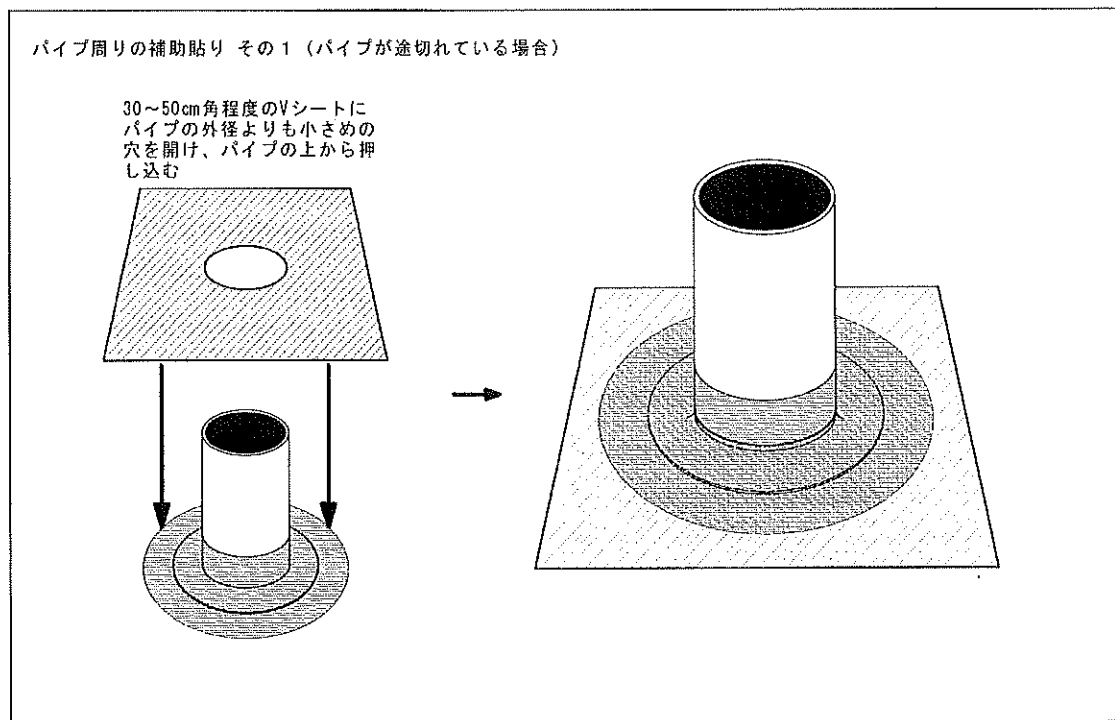
※2 保護層施工は原則建築工事となりますが、ご要望により軽量モルタル又は樹脂ノコによる施工もお請け致します。(別途)



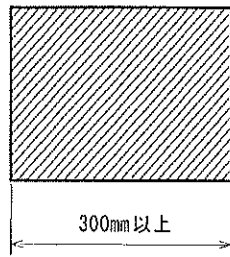


出隅々部は補強貼りをを行った後、図の様に納めます。

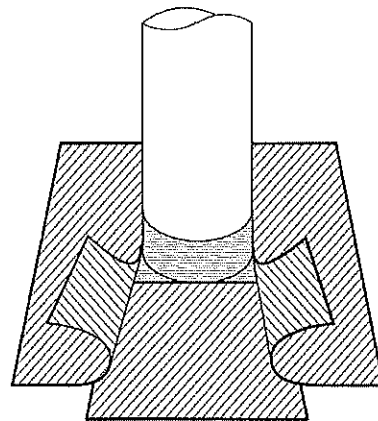
入隅々部は補強貼りは行わずに図の様に納めます。



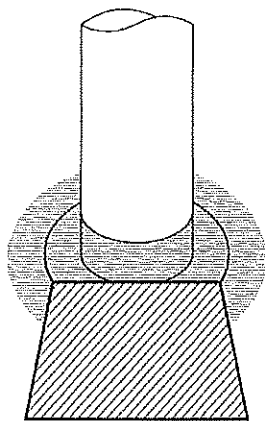
パイプ周りの補助貼り その2
 (パイプが途切れていない場合)



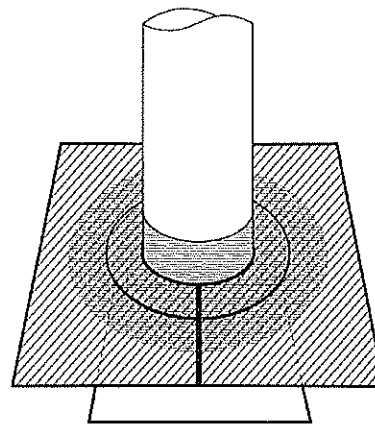
1. 図の様にシートを切り出す



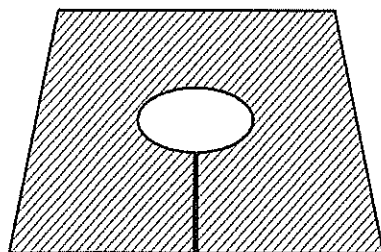
4. 位置を決め、シートを貼り付ける



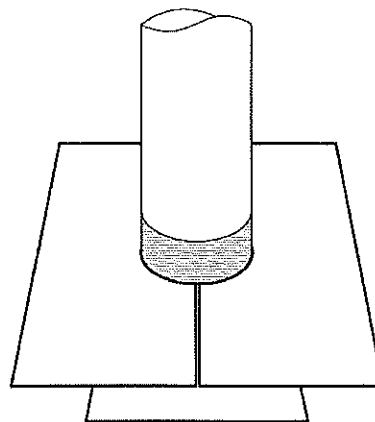
2. 図の様にシートを貼り付ける



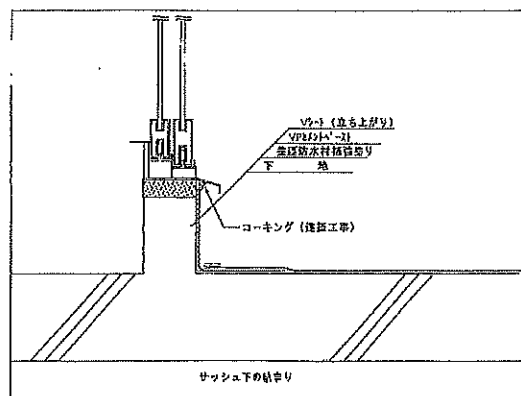
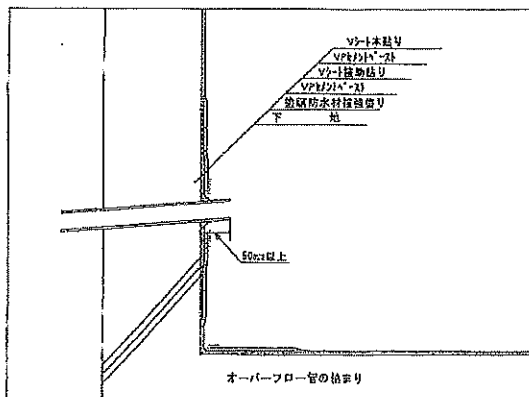
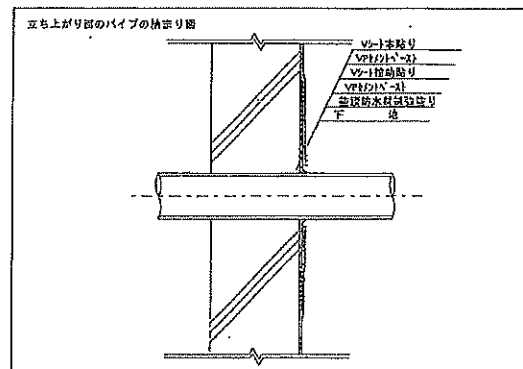
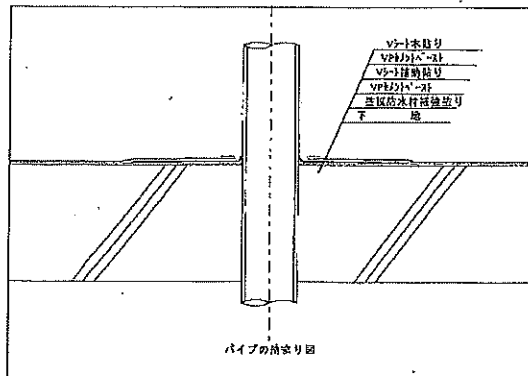
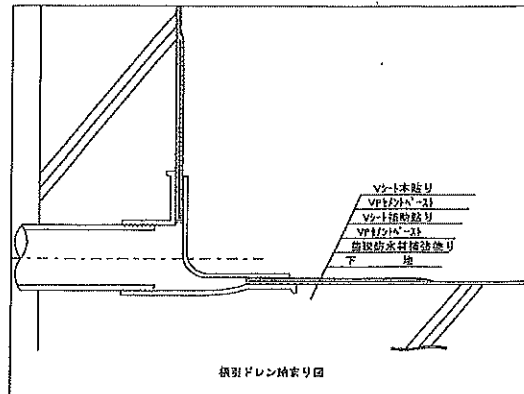
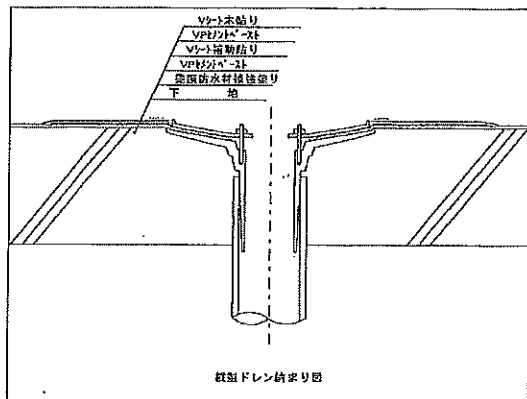
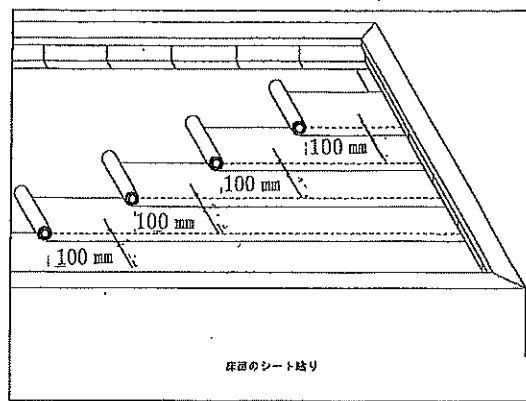
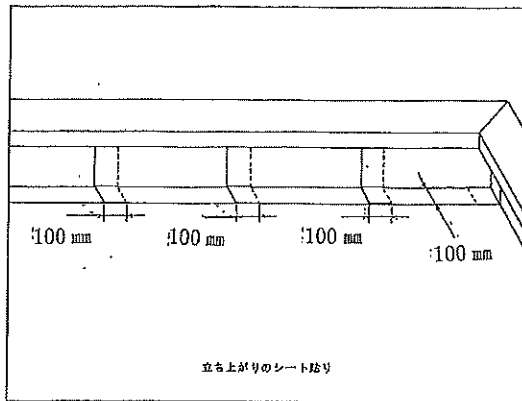
5. 開いた部分を閉じて貼り付ける



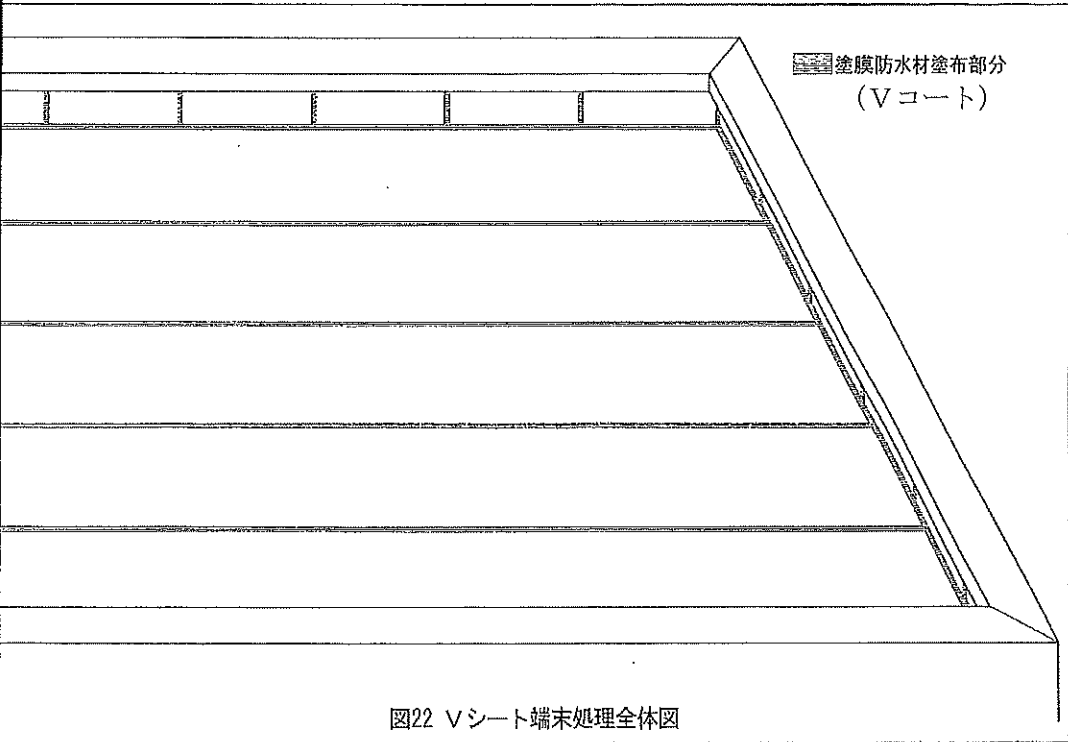
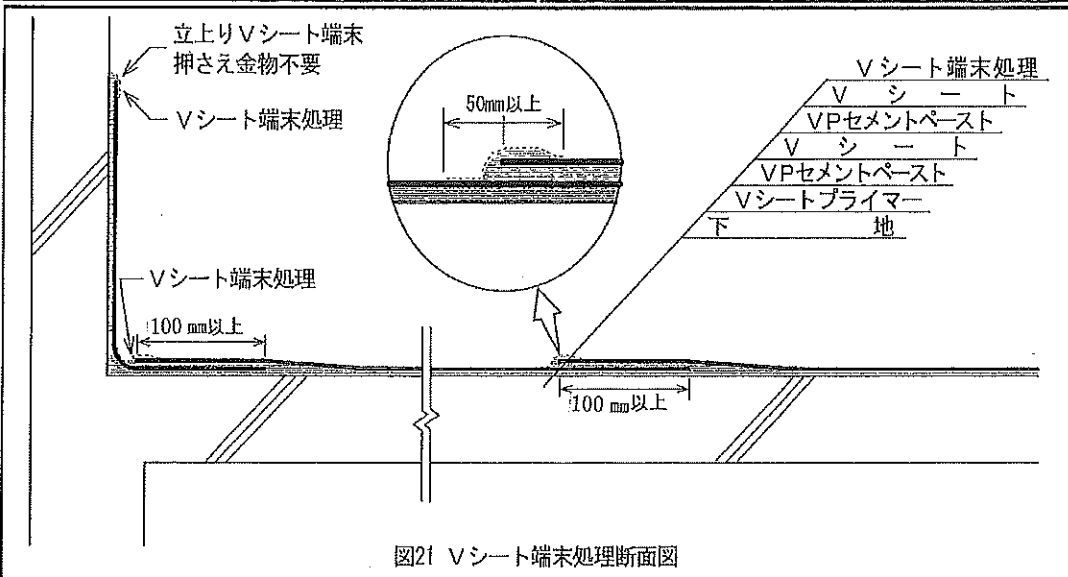
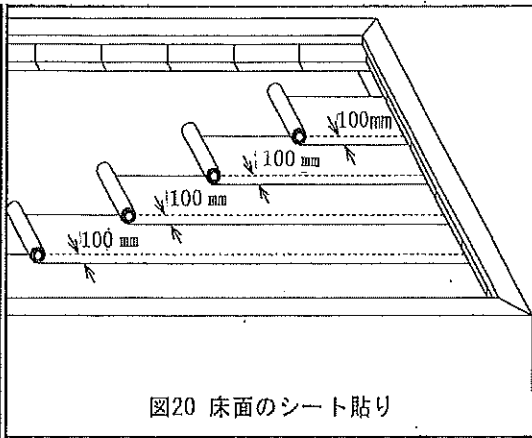
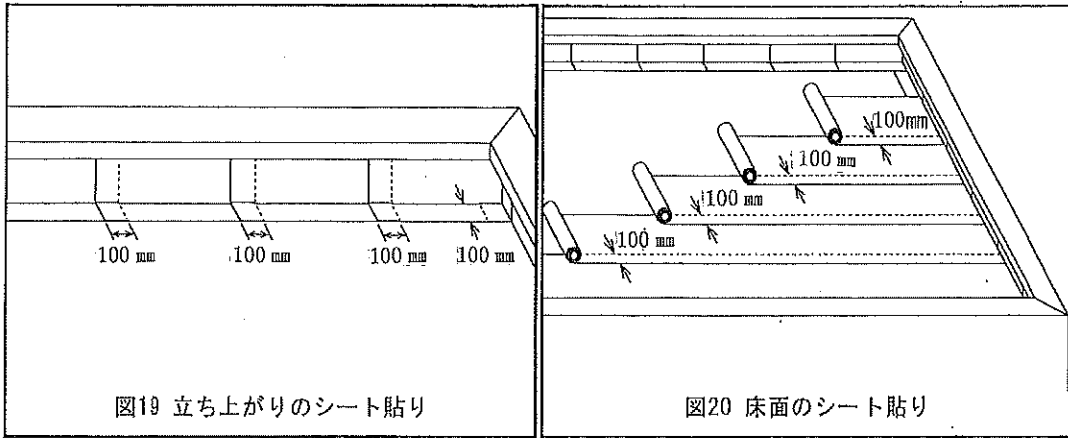
3. 30~50cm角程度のシートにパイプ外径と同径の穴を開け、切れ込みを入れる

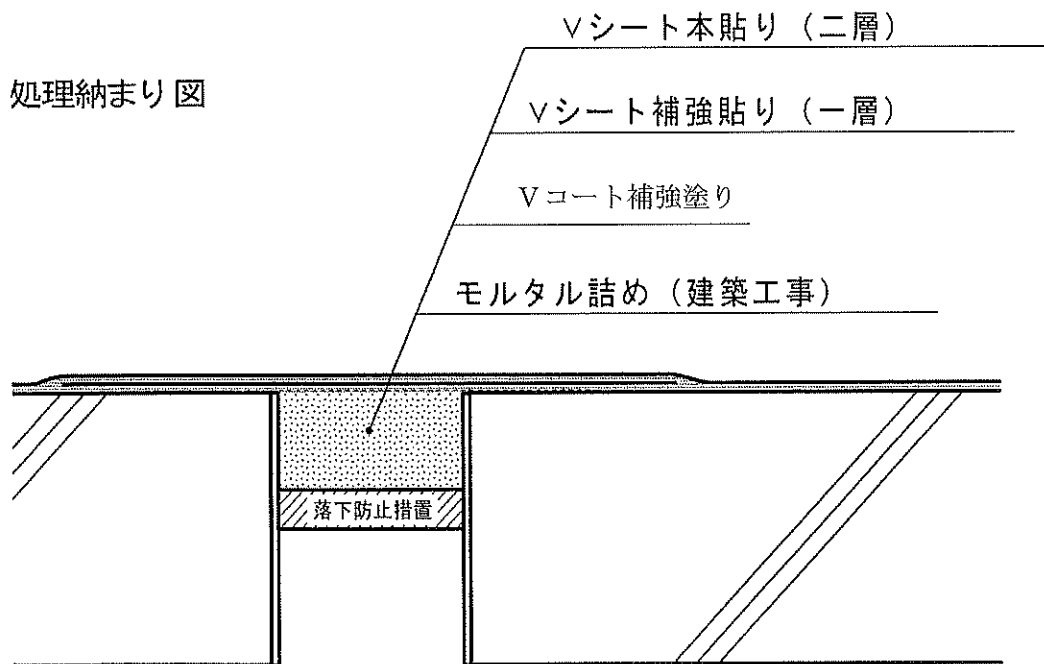
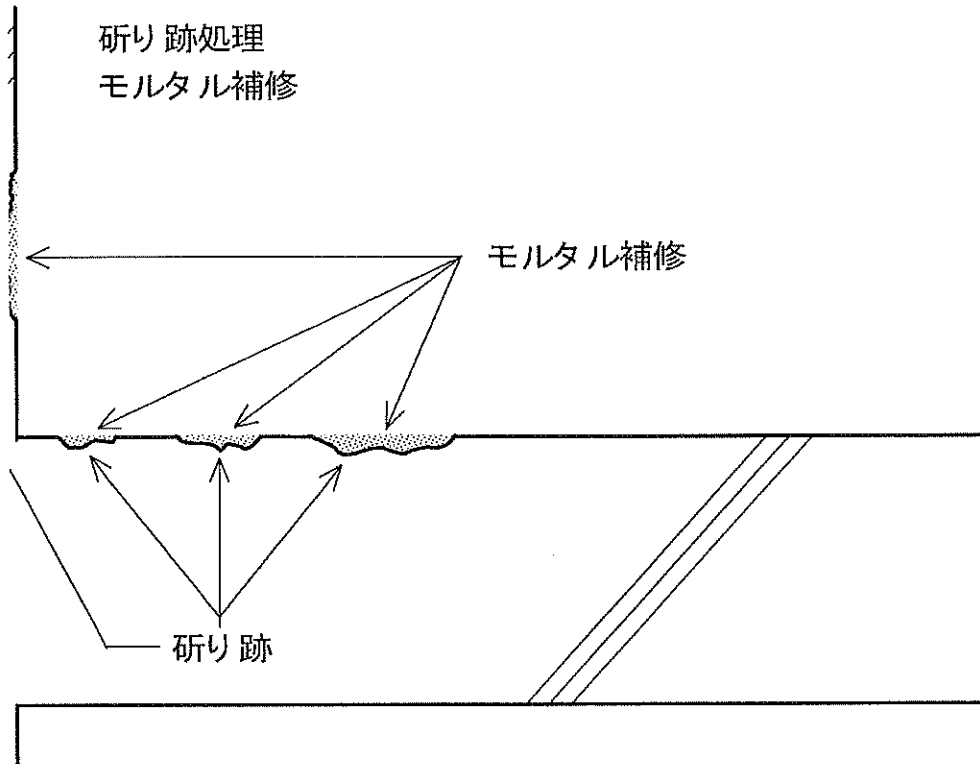
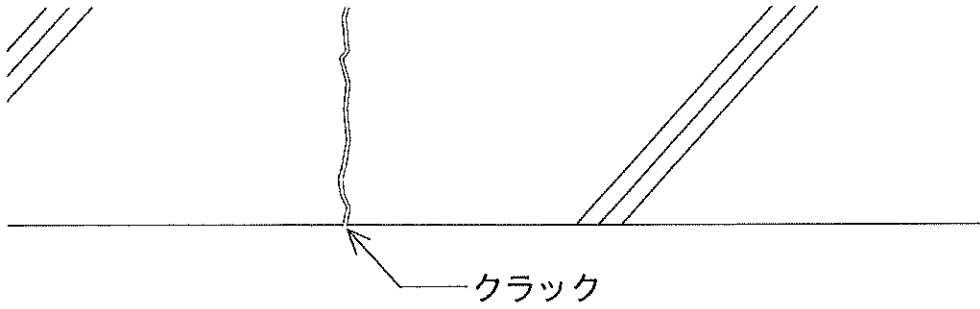


6. 完了

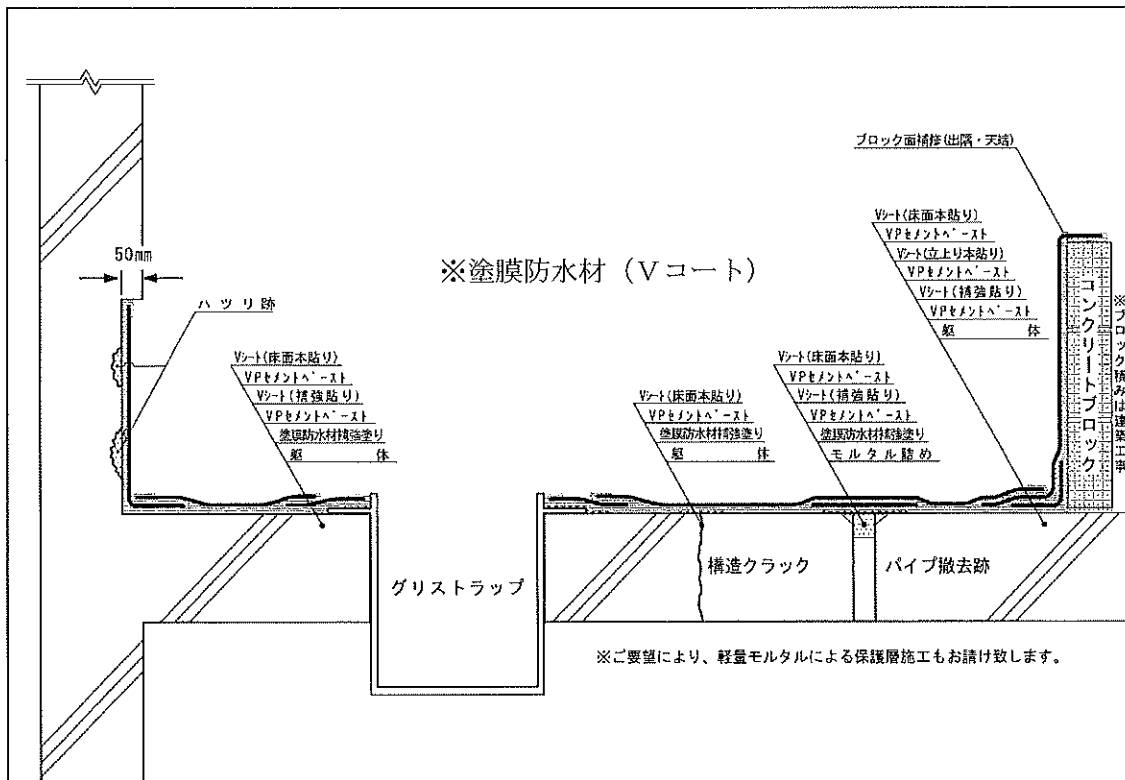
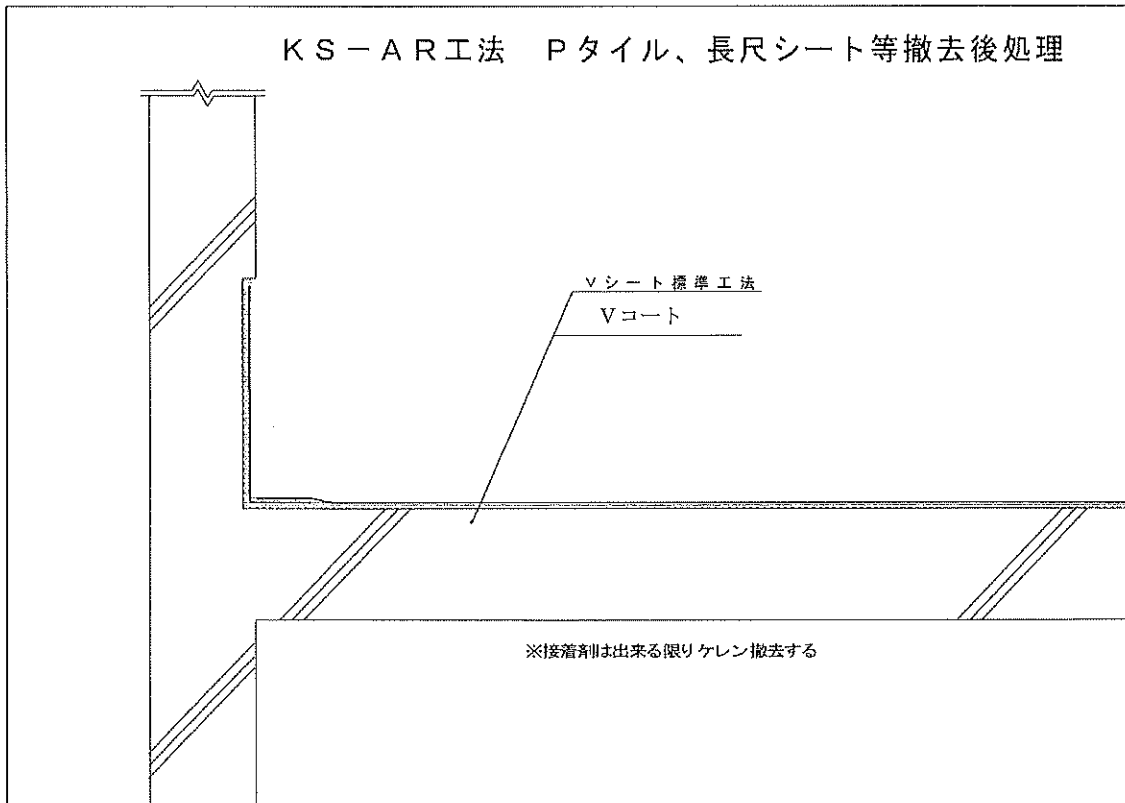


※塗膜防水材 (Vコート)

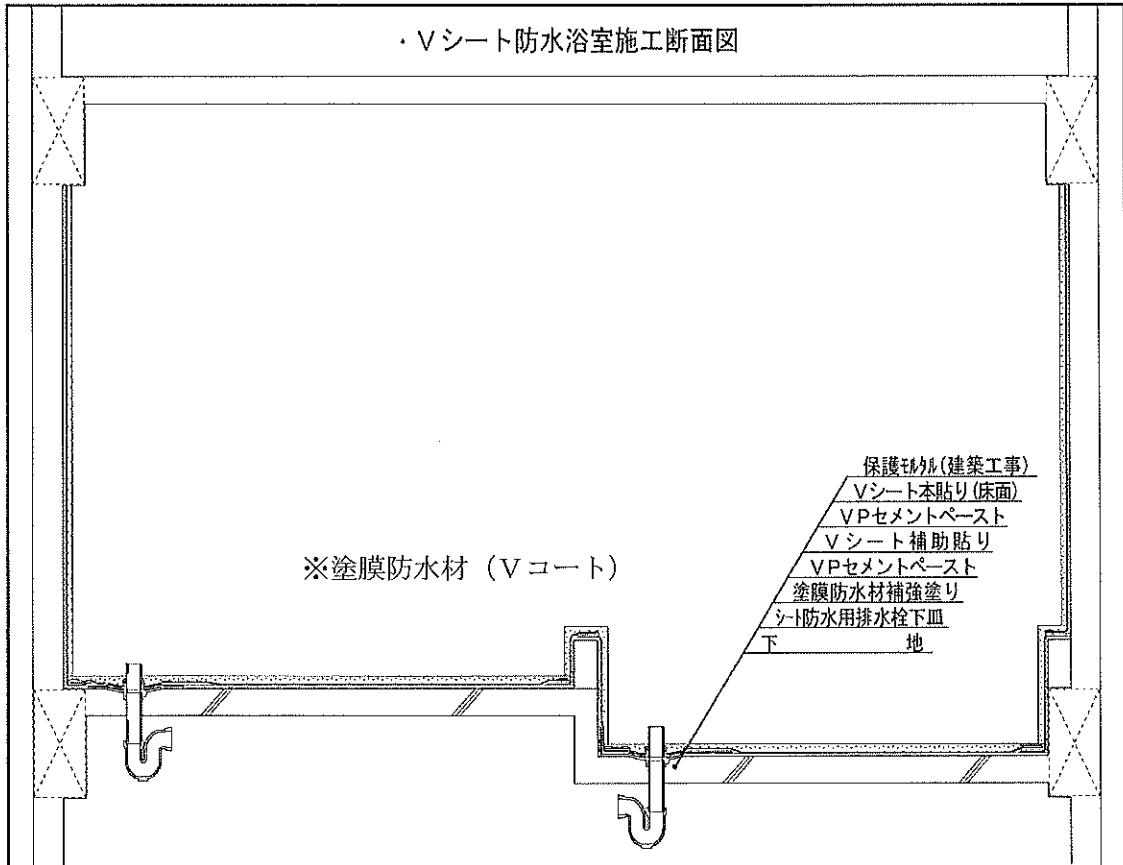




KS-A R工法 Pタイル、長尺シート等撤去後処理



・Vシート防水浴室施工断面図



・浴室床面とサッシのチリが少ない場合又はバリアフリーとする場合の納まり参考図
 (これらの場合は、浴室側床面のサッシ際に必ずグレーチングを設置して下さい)

